

広報はだの9月1日号に関するアンケート

作成日：令和4年9月20日

回答数	21
-----	----

問1 救急医療体制の中では、各症状等により医療機関ごとの役割があることを知っていましたか。

項目	回答数
医療機関が担う役割まで知っていた	9
知っているが、医療機関が担う役割まで知らなかった	10
全く知らなかった	2

問2 広報はだのを読んで、秦野市の救急医療体制は、充実していると思いますか。

項目	回答数
そう思う	0
どちらかと言えばそう思う	13
どちらかと言えばそう思わない	4
そう思わない	4

問3 全国版救急受診アプリ「Q助」を使用等したことはありますか。

項目	回答数
実際に使用して表示された結果を参照したことがある	0
使用したことはないが、ダウンロードしている	1
知っていたが、使用したことはない	5
知らないし、使用したこともない	15

問4 秦野市のデジタル化の取り組みの1つであるスマートフォン講座について、受講してみたい講座内容は何ですか。（3つまで）

項目	回答数
既にスマートフォンを利用しているため、受講しない	11
Youtube・twitter・LINEなど各種SNSアプリの使い方	6
地図アプリの使い方	3
行政手続のオンライン申請のやり方	2
電源の入れ方・電話のかけ方	0
インターネット検索のやり方	0
その他	2

【その他の内容】

- ・ 受講したいとは思わない

問5 広報はだのを読んで、ご意見がありましたらお聞かせください。

- ・ 医療は比較する地域にもよりますが、近隣市への利用も含めて比較的充実している方だと思います。更なる充実は大歓迎。教育費が増大し、医大進学も限られる中、医師不足で充実は、難しい問題。
- ・ 水無川マラソンのAED隊に参加しようと思いホームページを探したがわかりませんでした。
- ・ 記事によって書き方がまちまちで読みにくいところがある。すべて統一する必要は無いと思うが、大きなところでは統一して欲しい。
- ・ 救急医療を充実させることもいいですが、産科を増やして下さい。現在秦野市で出産できる場所は限られており、他市町村に人が流れています。中には引っ越しを考えている人もいます。このままでは秦野市の人口はますます減少してしまいますし、経済自体も枯渇していきます。
- ・ 娘が、秦野は産科がないから安心して産めないと言ったことがありますが。医師がきてもらえるとありがたい。
- ・ 行政紙というより雑誌になりすぎている。

○性別

項目	男性	女性	無回答
回答数	11	10	0

○年齢

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
回答数	1	0	1	5	3	5	6